



記者発表資料	
令和6年5月17日	
担当課 (担当)	鳥取市経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 (大角・和田)
電話	30-8288 (内線 7516)

佐治地域での地域おこし協力隊採用について

全国2例目！デジタルコミュニティを掛け合わせた「地域おこし協力隊 DAO」に取り組みます

本市は、佐治地域において、web3.0（※1）技術を活用した新たな「デジタルコミュニティ」と地域おこし協力隊を掛け合わせて地域を活性化する革新的なサービス「地域おこし協力隊 DAO（ダオ）（※2）」により取り組みます。

「地域おこし協力隊 DAO」は本市ふるさと納税の返礼品としてデジタルアート「ふるさと納税 NFT」を提供した実績のある企業、(株)あるやうむ（北海道札幌市）が今年度から全国で初めて開始したサービスで、本市は北海道余市（よいち）町（令和6年4月1日開始）に続く、全国2例目となります。

1. 背景・概要

佐治地域では、地域おこし協力隊を活用し、新たな交流人口及び関係人口を拡大し、地域ブランド力の向上を図る取組を行い、将来的には佐治地域での脱炭素先行地域づくりにも関連して、再生可能エネルギーを活用した農業経営の展開や脱炭素推進等につなげていくため、(株)あるやうむが取り組む「地域おこし協力隊 DAO」を活用し、地域おこし協力隊員本人だけでなく、隊員が所属する DAO メンバーもオンラインで関わっていき、「デジタル応援団」を増やしていくことで、人口減少が進む佐治地域の活性化に向けたアイデアの創出を図っていきます。

地域おこし協力隊員は、DAO 推進のトップランナーとして活躍されている方を令和6年10月から採用し、先進的なデジタル技術を活用したデジタルコミュニティの仕組みにより、これまでにない形で地域住民のみならず全国の DAO メンバーが一体となった事業を進めていくことで、地域により多くの賑わいや魅力が生まれ、地域課題の解決に繋がっていくことが期待されます。

2. 地域おこし協力隊 DAO とは

DAO は、メンバー全員が対等な立場で意思決定に関わり、それぞれの能力を最大限に発揮できる場を提供するものです。先進的なテクノロジーを活用することで、透明性が高く、効率的な運営を実現することができ、メンバーが自由にアイデアを共有し、創造性を発揮できるサードプレイスとしての役割も果たします。多様なバックグラウンドを持つ人々が集い、刺激し合うことで、イノベーションが生まれる場となります。

(株)あるやうむが運営する「地域おこし協力隊 DAO」は、こうした理念を体現するデジタルコミュニティで、みんながイキイキと活躍できる場を提供することで「新たな関係人口創出」に寄与し、メンバー間の交流から生まれる斬新なアイデアと柔軟な行動によって実施される施策が「地域課題の解決」に繋がることを目指す革新的な地域活性化モデルです。

DAOによる関係人口創出&地域課題解決フロー

phase1 立ち上げ・参加促進

- ・DAOの目的、テーマを定め、参加促進
- ・全国から参加(web3.0リテラシーの高いメンバー)
- ・地元から参加(地元課題を実感するメンバー)

phase2 交流&企画立案

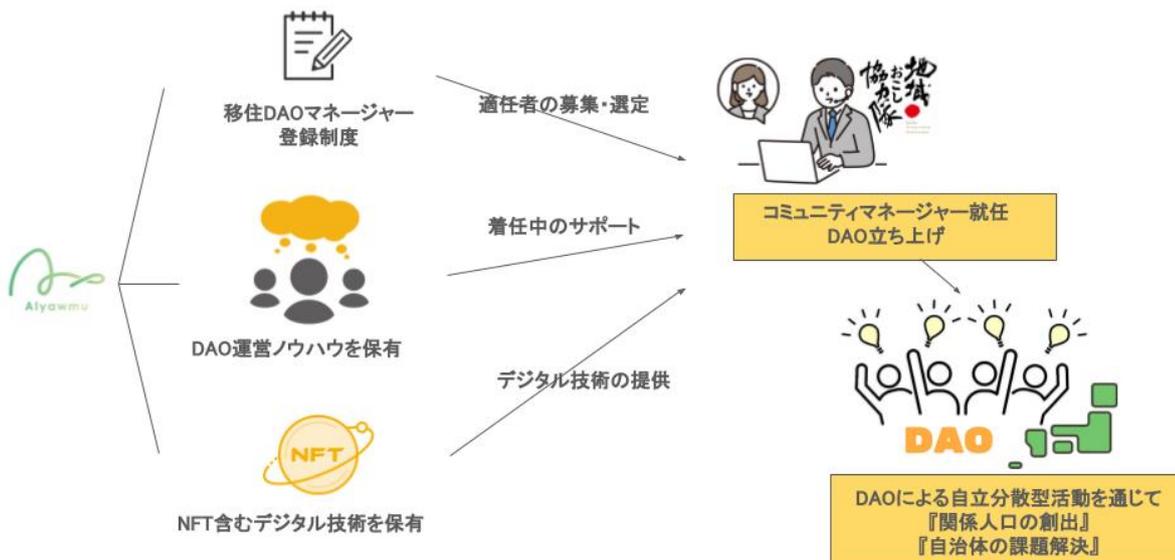
- ・チャットツールを活用して活発な交流と意見交換
- ・全国メンバーと地元メンバーとの科学反応から多種多様な革新的な企画案が生まれる
- ・実行する施策をメンバー間で選択する

phase3 施策実行

- ・DAOの合意に基づいて自律的かつ分散的に革新的な施策を実行することにより、地域課題解決
- ・DAOでの活動を通じて、参画するメンバーの自治体への愛着心が向上し、強固な関係人口を構築



『地域おこし協力隊DAO』スキーム



【出典：(株)あるやうむ】

3. 用語解説

※1：web3.0は、ブロックチェーン技術を使って、よりセキュアで分散化されたインターネットを目指す概念。個人情報管理や取引の透明性が高まり、ユーザー中心のウェブ体験が可能になる。AIや仮想現実などの最新技術も活用されている。Webの歴史から見るとweb1.0は「一方通行」(新聞やテレビ)、web2.0は「双方向性」(SNS)、web3.0は「分散・所有」(ブロックチェーン・NFT)と捉えることができる。

※2：DAOは、Decentralized Autonomous Organization(分散型自律組織)のことで、メンバー全員が対等な立場で意思決定に関わり、それぞれの能力を最大限に発揮できる場を提供するもの。先進的なテクノロジーを活用することで、透明性が高く、効率的な運営を実現することができる。